

# A-812XG

## 取扱説明書

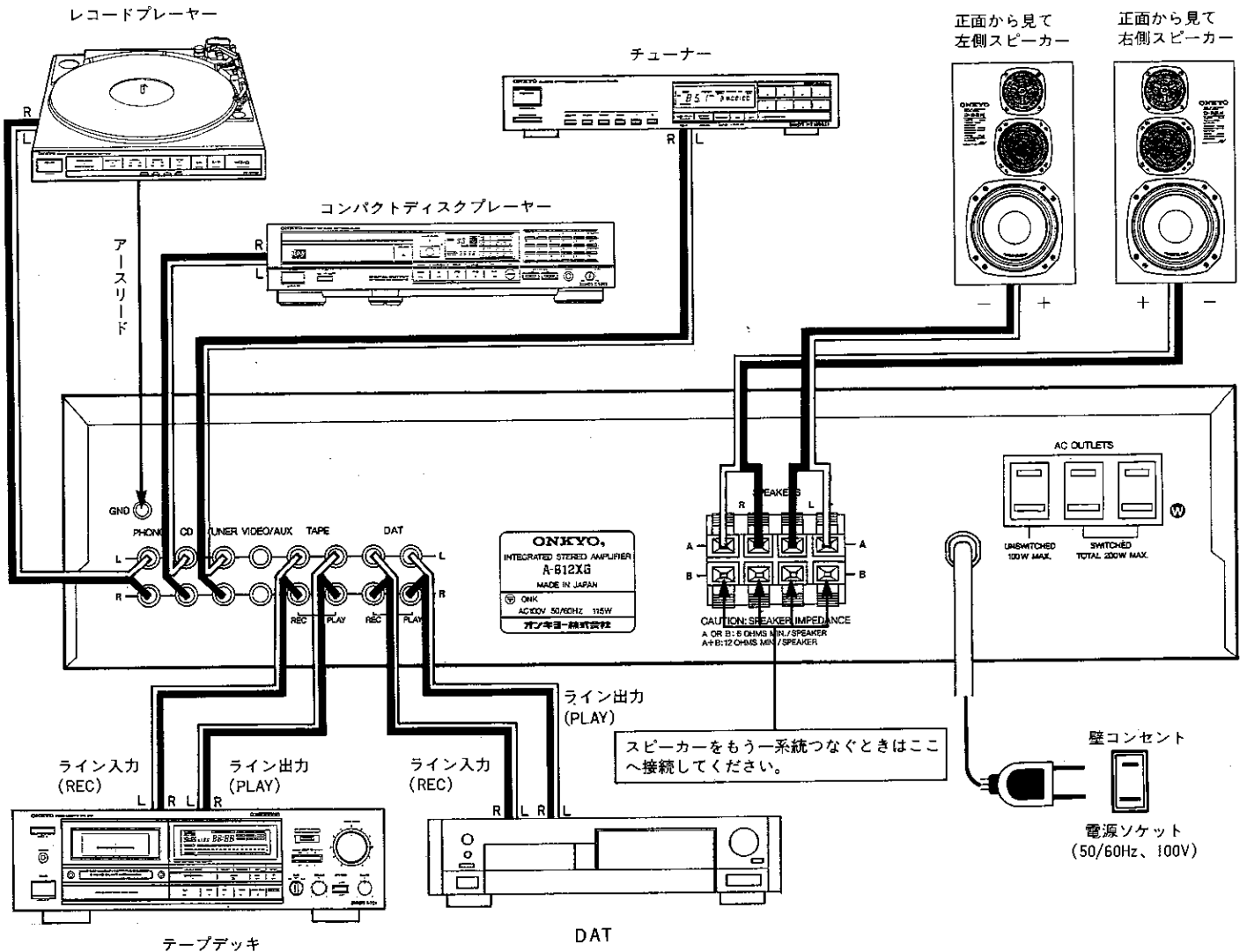


お買いあげいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
また、お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、製品保証書、  
オンキョーサービス網一覧表とともに大切に保存してください。

artistry in sound

**ONKYO**

# 接続のしかた



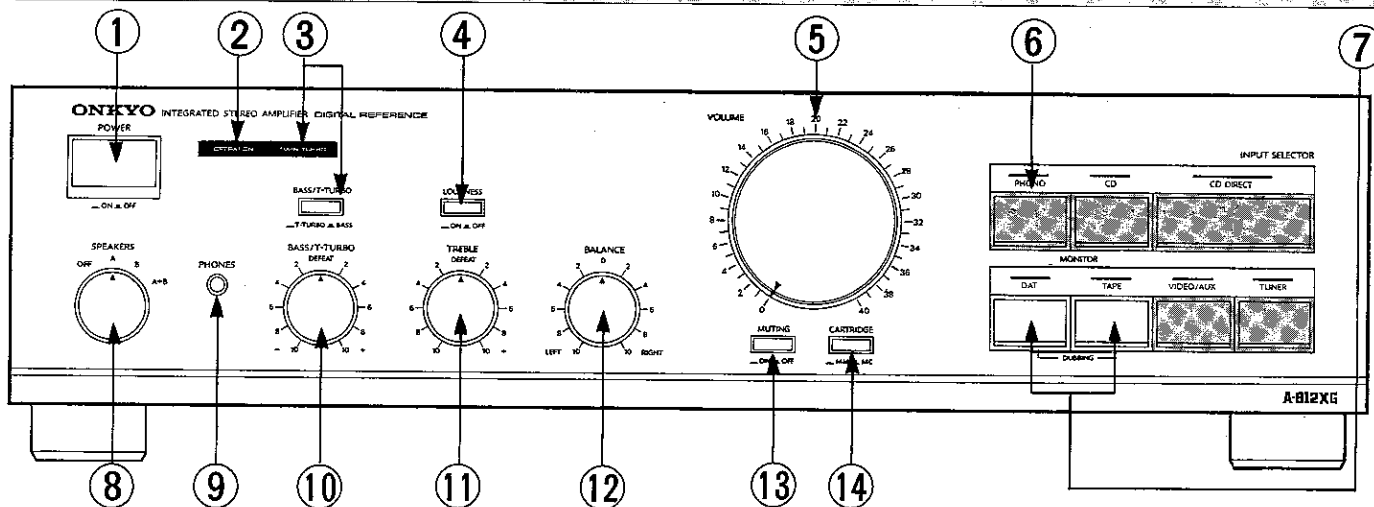
本機の電源コードは極性管理がなされていますので、電源コードの白線側がアース側となる様、壁コンセントの溝の長い方に合わせて使用することをおすすめします。  
 なお本機付属電源コンセントのⓂマーク側は電源コードの白線側と同じ極を示します。



- すべての接続が終わるまで電源スイッチ (POWER) は入れないでください。
- スピーカー端子への接続の際、隣の端子や裏面パネルにスピーカーコードの裸線が触れないようにしてください。

- スピーカー端子 A、B 両方にスピーカーを接続し A、B 両方のスピーカーを鳴らすときは A、B のスピーカーが並列に接続されることになります。合成インピーダンスが定格以下になるシステムを接続するときは大音量での連続使用は避けてください。

# 各部の名称と働き



- ① 電源スイッチ (POWER)  
ON (■) で電源が入り、OFF (□) で切れます。
- ② オペレーションインジケータ (OPERATION)  
電源スイッチON (■) したのち、回路が安定動作状態になると点灯します。このインジケータが点灯するまで音は出ません。また、保護回路が動作したときは消えます。
- ③ バス/ツイーターボ切り換えスイッチおよびインジケータ (BASS/T-TURBO)  
■ BASS ……この位置では普通のバスとして働きます。  
■ T-TURBO ……この位置ではインジケータが点灯して⑩のツマミがツイーターボとして働きます。  
ツイーターボはツマミで調節する事により50㏪付近の低域が強調され、Hi-Fi ビデオサウンドの衝撃や興奮を得る事ができます。また、従来のトーンコントロールで生じやすい中低域・中域の不快感のこもりが生じることなく低域が強調できます。
- ④ ラウドネススイッチ (LOUDNESS)  
耳の聴感上の特性を補正するスイッチです。夜など、ごく小さな音で聴くときにON (■) にしますと聴きやすい音になります。普通の音量や大きい音で聴くときはOFF (□) にした方が自然な再生音が得られます。
- ⑤ ボリュームツマミ (VOLUME)  
音量を調節するツマミです。右に回すほど音量が大きくなります。
- ⑥ インプットセレクターボタン (INPUT SELECTOR) およびインジケータ  

CD DIRECT (コンパクトディスクダイレクト)  CD (コンパクトディスク)	……	CD端子に接続されたコンパクトディスクプレーヤーを演奏するときにCD DIRECTまたはCDのどちらかを押します。CD DIRECTの位置ではLOUDNESS、BALANCE、トーンコントロール、ミュートングを通らず、メインアンプへ直接信号を送り込みます。
--	----	--

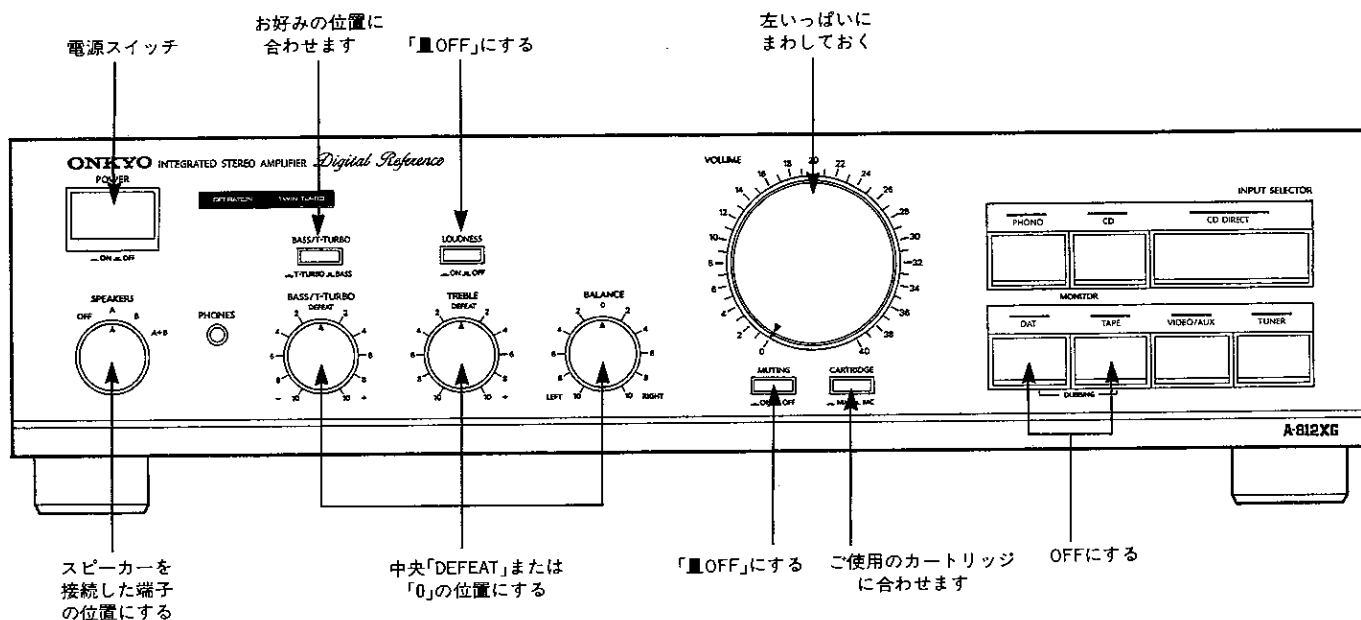
  

PHONO ……		PHONO端子に接続されたレコードプレーヤーを演奏するときに押します。
TUNER ……		TUNER端子に接続されたチューナーで放送を聴くときに押します。
VIDEO/AUX ……		VIDEO/AUX端子に接続されたビデオ機器(ビデオ/オグジュアリー)を演奏するときに押します。

※インプットセレクターボタンは必ず1つを確実に押してください。
- ⑦ テープモニターボタン (MONITOR)  
TAPE ……TAPe端子に接続されたカセットテープデッキを再生するときに押します。  
DAT ……DAT端子に接続されたDATまたはカセットテープデッキを再生するときに押します。
- ⑧ スピーカースイッチ (SPEAKERS)  
スピーカー端子の出力切り換えスイッチです。A (またはB) の位置ではスピーカーA (またはB) に接続されたスピーカーから、A + Bの位置にするとA、B両方のスピーカーから音が出ます。OFFの位置ではスピーカーから音は出ません。
- ⑨ ヘッドホンジャック (PHONES)  
ヘッドホンのプラグをこのジャックに差し込みます。ヘッドホンだけの音を聴くときはスピーカースイッチ⑧をOFFの位置にしてください。
- ⑩ バス/ツイーターボツマミ (BASS/T-TURBO)  
バス/ツイーターボ切り換えスイッチ③で切り換わった機能を調節するツマミです。  
中央「DEFEAT」(ディフィート)の位置より右に回すと③のスイッチが、バスの位置では低音が強調され、ツイーターボの位置では超低音が強調されます。左に回すと減衰します。
- ⑪ トレブルツマミ (TREBLE)  
中央「DEFEAT」(ディフィート)の位置より右に回すと高音が強調され、左に回すと減衰します。
- ⑫ バランスツマミ (BALANCE)  
中央「0」の位置より右に回すと右に、左に回すと左に音像が移動します。中央にすると左右の出力が同じになります。
- ⑬ ミューティングスイッチ (MUTING)  
「■ON」の位置にすると出力が約1/2になり音量が小さくなります。一時的に音量を下げたいときなどにご使用ください。
- ⑭ カートリッジ切り換えスイッチ (CARTRIDGE)  
ご使用になるカートリッジによってこのスイッチを切り換えてください。音量を上げたまま切り換えますと大きな音が出ることがありますので、ボリュームツマミを左に回し音量を小さくしてから行ってください。  
■MM ……MM型カートリッジをご使用のときは、この位置にしてください。  
■MC ……MC型カートリッジをご使用のときは、この位置にしてください。ただし、MCカートリッジでも昇圧トランスを使用しているときは、MM型の位置にしてください。

# 演奏のしかた

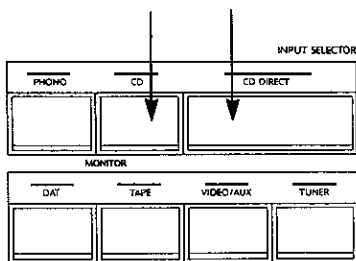
■演奏をはじめる前に各操作部を下図の状態にしてから番号順に操作を行ってください。



- 1 電源スイッチを押します。
- 2 演奏するソースを選んで下図の操作を行ってください。

## ■コンパクトディスクを聴く

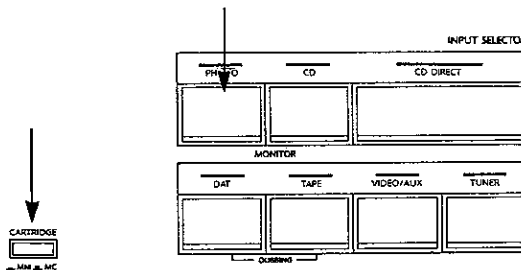
- 2-1 CDまたはCD DIRECTを押します。
- 2-2 CDプレーヤーを演奏状態にします。



※CD DIRECTを押したときは、ラウドネス、バランス、トーンコントロール、ミュートは働きません。

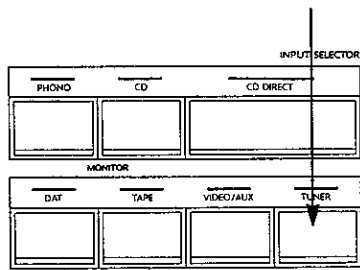
## ■レコードを聴く

- 2-1 PHONOを押します。
- 2-2 ご使用のカートリッジに合わせて、カートリッジ切り換えスイッチを切り換えてください。
- 2-3 プレーヤーを演奏状態にします。



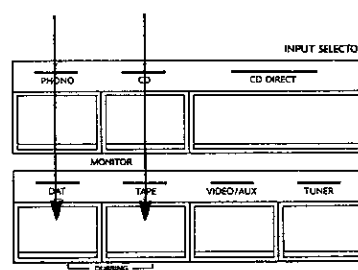
## ■放送を聴く

- 2-1 TUNERを押します。
- 2-2 チューナーをご希望の放送局の周波数に合わせます。



## ■カセットテープを聴く

- 2-1 TAPE端子に接続されたデッキを演奏するときは「TAPE」を、DAT端子に接続されたデッキを演奏するときは「DAT」を押します。
- 2-2 カセットテープデッキを再生状態にします。

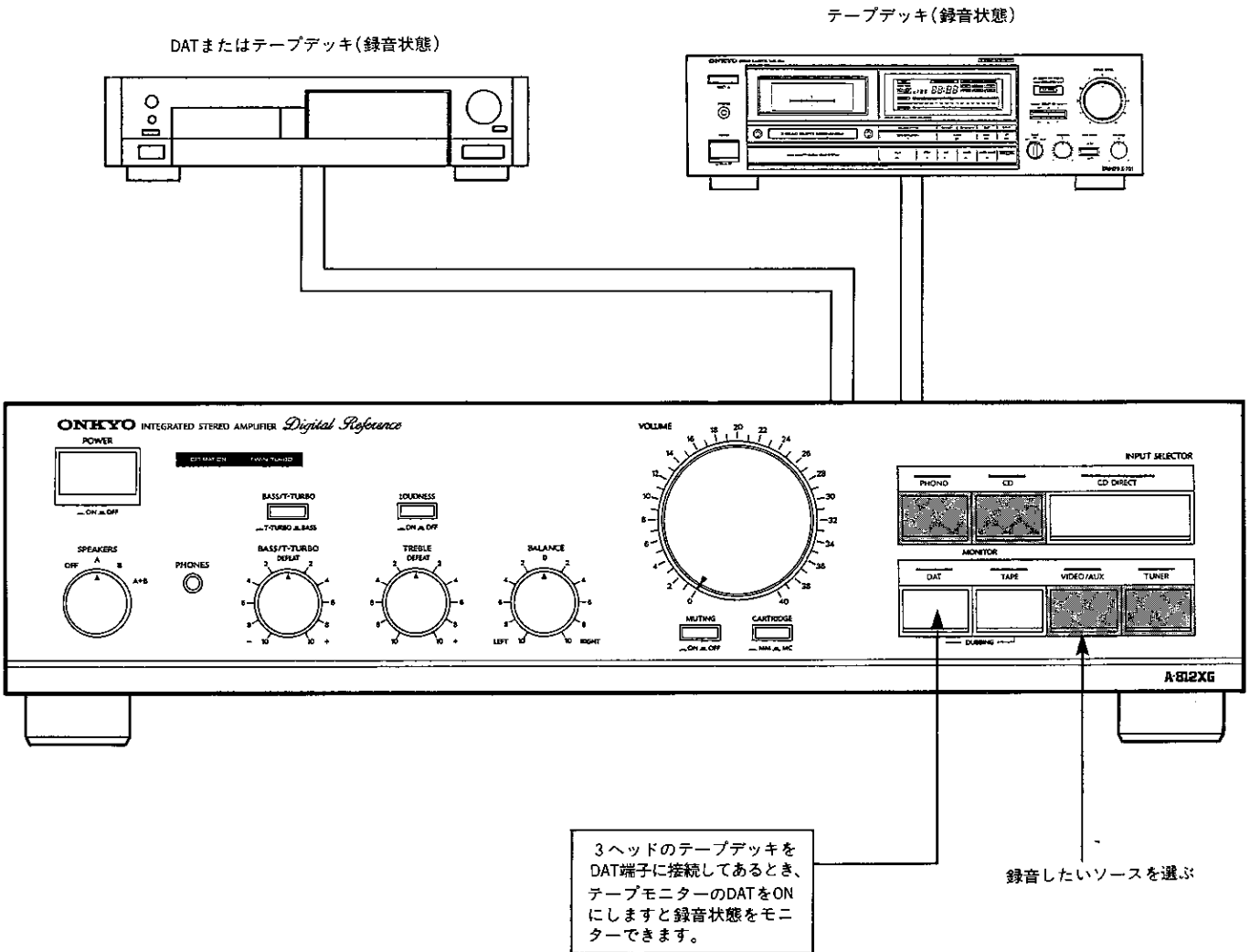


- 3 ボリュームツマミをゆっくり回して適当な音量でお聴きください。
- 4 ツインターボ、バス、トレブル、ラウドネスは3ページ「各部の名称と働き」をご参照のうえ、お好みの音質に調整してください。また、バランスツマミも必要に応じて操作してください。

# 録音のしかた

4ページの演奏状態で下記のように録音操作を行ってください。

- 録音するときはテープモニターをOFFにしてください。  
(上部のインジケーターが消灯している状態)
- 2台同時に録音することができます。
- DAT端子に接続されたテープデッキが3ヘッドのときは、テープモニターボタンの「DAT」を押して上部インジケーターを点灯させると録音状態をモニターできます。
- テープデッキに録音中は、インプットセレクターを絶対に押さないでください。
- 録音レベル調整はテープデッキ側で行ってください。



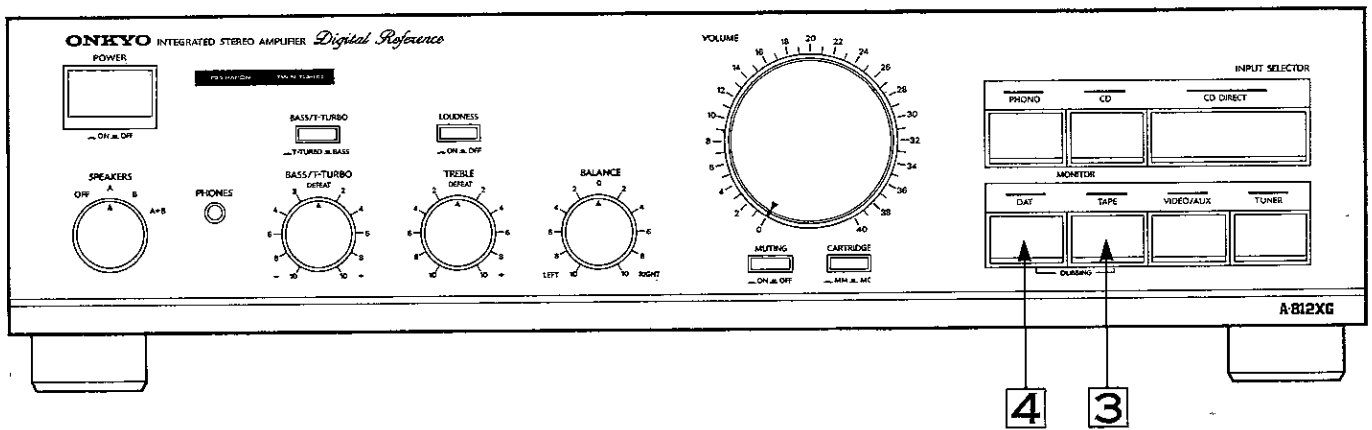
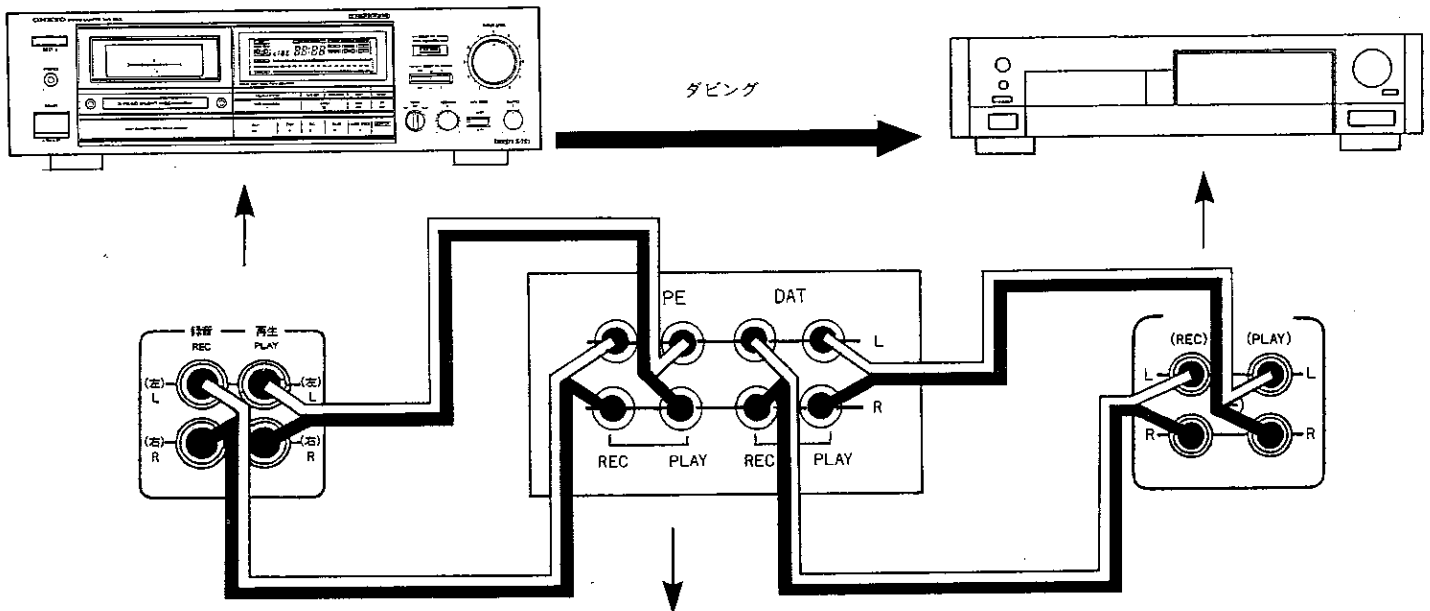
# テープダビングのしかた

2台のテープデッキを使って、すでに録音済みのテープからテープへ複写することをテープダビングといいます。

ダブルデッキでは、このページの説明のように本機を通さなくても、テープデッキだけで簡単にダビングができます。  
(詳細は、テープデッキの取扱説明書をご参照ください。)

1 台めのテープデッキ

2 台めのテープデッキ



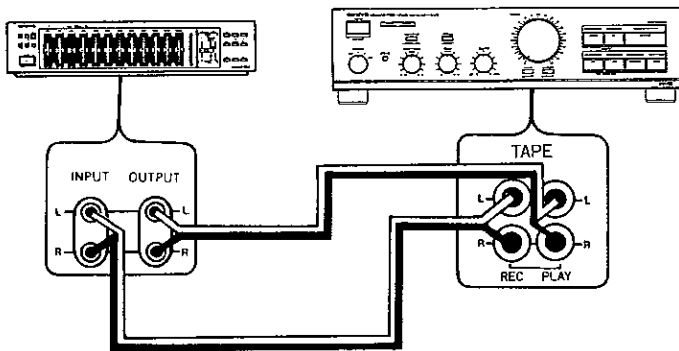
操作のしかた	説明
① TAPE端子に接続したテープデッキに録音済みテープをセットします。	・テープデッキの操作についての詳細は、その機器の取扱説明書をご参照ください。  ・インジケータが点灯します。 ・インジケータを点灯させると録音状態がチェックできます。
② DAT端子に接続したテープデッキまたはDATに録音できるテープをセットします。	
③ テープモニターボタンの「TAPE」を押します。	
④ 録音側のテープデッキが3ヘッドのときはテープモニターボタンの「DAT」を押します。	

**ご注意**

・この操作は、モニターボタンの「TAPE」から「DAT」のみのダビングができます。

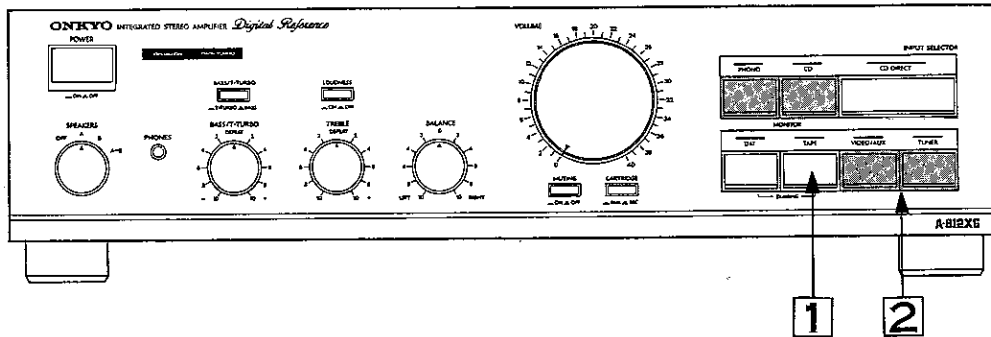
# グラフィックイコライザーを使っての演奏や録音のしかた

TAPE端子にグラフィックイコライザーを接続したとき



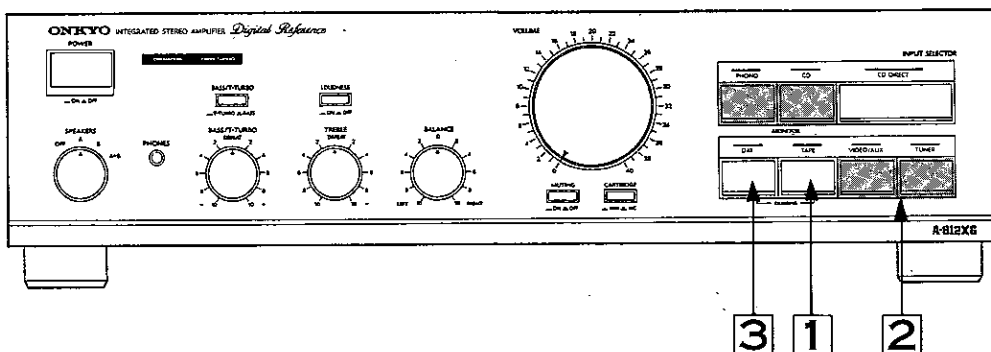
- DAT端子にグラフィックイコライザーを接続することもできますが、このときテープデッキまたはDATにイコライザーしたソースを録音することはできません。
- グラフィックイコライザーの操作については、その機器の取扱説明書をご参照ください。

## ■オーディオソースをイコライザーして演奏するとき



操作のしかた	説明
<ol style="list-style-type: none"> <li>① テープモニターボタンの「TAPE」を押します。</li> <li>② インプットセレクターボタンをイコライザー再生するソースに合わせます。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インジケーターが点灯します。</li> </ul>

## ■テープデッキまたはDATにイコライザーしたオーディオソースを録音するとき (グラフィックイコライザーはTAPE端子に接続してください。)



操作のしかた	説明
<ol style="list-style-type: none"> <li>① テープモニターボタンの「TAPE」を押します。</li> <li>② インプットセレクターボタンをイコライザー録音するソースに合わせます。</li> <li>③ テープデッキが3ヘッドのときはテープモニターボタンの「DAT」を押します。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インジケーターが点灯します。</li> <li>・インジケーターを点灯させると録音状態がチェックできます。</li> </ul>

# 定 格

実 用 最 大 出 力	6Ω (EIAJ)	105W+105W
全 高 調 波 ひ ず み 率	CD→SP-OUT 8Ω 定格出力	0.08%以下
イ コ ラ イ ザ 偏 差	PHONO→REC-OUT	20Hz~20kHz/ ±0.5dB
入 力 感 度 / 入 力 イ ン ピ ー ダ ン ス	PHONO (MM)	2.5mV/50kΩ
	PHONO (MC)	350μV/330Ω
	CD、TUNER、TAPE、DAT	150mV/50kΩ
最 大 許 容 入 力 電 圧 (PHONO)	MM 1kHz THD 0.5%	150mV
信 号 対 雑 音 比 (SN比) (入力ショート)(IHF-A)	PHONO (MM)	83dB
	CD、TUNER、TAPE、DAT	97dB
ト ー ン コ ン ト ロ ー ル 特 性	TREBLE	±10dB @10kHz
	BASS	±10dB @100Hz
ミ ュ ー テ ィ ン グ	-20dB	
ツ ィ ン タ ー ボ	±15dB @50Hz	
	±6dB @10kHz	
電 源	AC100V 50/60Hz	消費電力 115W (電気用品取締法規格)
寸 法 (mm)	435(W)×119(H)×272(D)	重 量 6.7kg
付 属 品	取扱説明書、オンキョーサービス網一覧表、製品保証書	

## アフターサービスについて

- この商品には製品保証書を別途添付しています。  
製品保証書は販売店でお渡し致しますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- 保証期間はご購入日より1年間です。  
製品保証書の記載内容によりご購入の販売店が修理致します。その他詳細は製品保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。  
性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明のときはご購入の販売店か、オンキョーサービス網一覧表に記載のサービスステーションにお問い合わせください。

artistry in sound

# ONKYO®

オンキョー株式会社

本社/寝屋川市日新町2-1 〒572

アフターサービスのお問い合わせ先:

ご購入の販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター ☎03(3861)8121 ●大阪サービスセンター ☎0720(32)1616

Printed in Japan

SN-29341425 015-28-1K-ASA